

被災地訪問 2012年10月11日(木)

南三陸町 志津川エリア



女性職員が最後まで放送していた防災庁舎です。



今でも花がたくさん捧げられていました。



鎮魂の思いで溢れています。



千羽鶴もたくさん寄せられているそうです。



基礎だけ残っている家の跡地がたくさんあります。

石巻市 北上川エリア



釣石神社(落ちそうで落ちない石:受験の神様)



神社は流されてしまいました。

←白い看板の位置まで津波がきました。

石巻市 新北上大橋エリア



児童108人のうち74名が、教師も10名亡くなった大川小学校



小学校の左側には北上川が流れています。



1階建てのおしゃれな小学校で、屋上はありませんでした。



右側に体育館がありましたが流されてしまいました。その横には山があります。



当時は雪が降っていて、最終的に山に登るのではなく、新北上大橋の小高い三角地帯を目指したため、その後に来た津波に飲み込まれて、ほとんどの児童と教師が亡くなってしまいました。何故、山に逃げなかったのか？教師の言うことを聞かず非難した児童(保護者誘導)は助かっています。

石巻市 雄勝エリア



右側が公民館で、左のバスが津波で上に引っかかっていた。(最近降ろされたそうです)



硯の全国一の生産地。この建物は、雄勝硯伝統産業会館。



震災直後は何十万とする硯がゴロゴロしていたとか。



同じ地区の小学校。窓は全て抜けて側だけ残っている感じです。



道は通れるようになっていますが、大きな建物以外は何もありません。

女川町



女川町唯一の鮮魚販売と食事ができるところ。海鮮丼が安くて美味しかった。これは、地盤沈下によって起こっている現象です。いろいろところが地盤沈下しています。道路も土を入れてかさ上げてやっと通れるようになったそうです。それまでは、道路も水没していたそうです。



4階建ての建物が横転しています。右側が下で支柱が折れてしまっています。この他にもいくつかありました。



七十七銀行女川支店跡地です。



すぐ近くに高台があり非難できたのに、津波を知らせるためにお客様の所に行ったため、12名の銀行員が亡くなりました。



ほんの30m先に避難場所が・・・



高台の上からさっきの建物を撮影しています。
右端には、七十七銀行跡地の祭壇が見えます。こんな近いのに・・・



津波の威力のすごさを実感します。



転倒したビルの左側です。



転倒したビルの右側は何もありません。

ここを襲った津波の高さは17. 5mです。
この広いエリアが津波で覆いつくされるのは脅威の何者でもありません。

高台も山を回りこんで1. 5mくらい水が来て多くの人が流されました。
そこには病院があったのですが、ほぼ1階部分は浸水したそうです。
もう一段高くなっていて、そこに避難が間に合った人は助かったそうです。

津波は8回も引いては押し寄せたそうです。

沖まで流されたけれど奇跡的に助かった人もいたそうです。

石巻市 市中心部エリア



小学校ですが、火災が発生して焼け跡が付いています。
ここは、火災が発生した場所です。津波の上の火災(水上火災)なので、
上の部分だけ焼け跡があるのが特徴です。(特に左側)



配管工の会社があったそうですが、柱しか残りませんでした。 この会社の主人が、震災後すぐに作った看板です。

この津波到達地点が、6. 9mです。 地面には「復興するぞ」の文字があります。



← 看板の後ろ側(海側)です。 沼津の地形に似ていると思いました。(千本付近)



今は草が生えているので空き地に見えますが、住宅地だったところです。
左側の白い建物が、石巻病院、その右に橋(高架)が見えますが、そこが海です。

東松島市



石巻市は、住宅で残っているところはほとんどありませんでしたが、東松島市では、片付けられていない住宅が点在します。
(ゴミもそのまま、道路もでこぼこです。)

何故このような差ができるかというと、自治体の力の差(規模の違い)だということです。(国はなにをしているのでしょうか?)